

南池袋二三四町会

「災害時要援護者名簿および災害時避難行動要支援者名簿」登載者調査報告

南池袋二三四町会 防災部

令和4年1月25日

修正 10月30日

豊島区から令和3年7月に町会に配布された災害時避難行動要支援者名簿(以下、名簿)登載者に、10月から11月にかけてアンケート調査をさせていただきました。その結果をご報告します。

1. 名簿登載者の変化

- ・名簿は、平成26年にも町会に配布されましたので、まず、内容の変化を確認しました。新しい名簿では、登載総数70、新規登載数33、登載解除数22(物故、入所、移転などにより登載がなくなった方)でした。つまり、入れ替わりが78.5%ありました。要介護度が増えた方は8名でした。なお、前回の登載者数は65でした。
- ・登載者数の時間に伴う変化の把握は、敬老会等の町会活動への参加、お香典申請(家族からの申請)と照合することで、一部はできると考えられますが、定期的な確認は今後の課題です。

2. 調査への返信結果

分類	人数	%	
名簿登載者	70	100.0	
宛て先不明・郵便箱封鎖*1	8	11.4	
返信あり	41	58.6	
	移転*1	1	1.4
	居住せず	2	2.9
	入所*2	2	2.9
	物故*2	8	7.1
	小計	13	18.5
	支援不要*3	12	17.1
	要支援	16	22.9
返信なし*4	小計	21	28.6
	物故・転居・入所	3	
	支援不要と推測	4	
	要支援と推測	8	
	知己無	7	

- ・名簿登載者 70 名のうち 41 名から返信がありました。
- ・「支援必要」と回答したのは 16 名(回答者 41 名中)39.6%でした。
- ・郵送したアンケートのうち 8 通が宛先不明でした。さらに、41 名中 13 名が登載住所にお住まいではありませんでした。その理由は、物故、入所、移転でした。
- ・10 名は「支援は不要」と回答されましたが、そのうち 1 名は上肢下肢 1 級で避難行動や避難生活が心配されました。
- ・年齢、家族構成、障害種別が同様でも、「支援が要る」と回答する場合と「支援不要」と回答する場合があります。
- ・返信無で、上肢下肢 2 級4名がいました。返信がない人の中には、支援が不要な場合の他に、本人が返信できない場合、遠慮がある場合、町会への期待が薄い場合等の可能性を分別することは今後の課題です。支援を申し出ていただいた人から順番に対策を検討し、対策案を居住者に報告することで、新たな申し出があることを期待します。
- ・返信無の 21 名について、町会地区委員に尋ねたところ、表の下部に示したように、要支援と推測、支援不要と推測、不在(物故・転居・入所)、知己無に分けられました。知己無は全員がマンション居住者でした。下の表では、返信有と無をまとめました。マンションに建替え予定の 2 地区があるため転居・不在・宛名不明は多い特徴があります。

分類	人数	%
要支援	24	34.3
支援不要	16	22.9
物故・入所	12	17.1
宛名不明(転居・物故・入所)	8	11.4
転居・不在	4	5.7
知己無	7	10.0
合計	70	100.0

3. 連絡先・家族数・町会員

支援不要群 11 名中 5 名は調査に回答くださったので、要支援群と共に結果を表に示しました。

	総数	電話記入	メール記入	家族携帯記入	家族メール	LINE使用可	独居	家族2	非会員	会員無回答
要支援	16	16	0	10	5	5	3	10	2	2
支援不要	5	5	0	3	0	4	1	2	1	1
合計	21	21	0	13	5	9	4	12	3	3

・回答者全員が電話番号を記入しました。メールまたは LINE 記入者は 3 分の 1 でした。LINE 使用者は多くはないのですが、平時からの簡便な連絡方法として町会

では LINE と HP を検討しています。LINE は 2016 年熊本地震以降には被災地での実用実績が高いためです。

- ・独居者は 2 割、家族数 2 名は要支援群で 62.5%でした。
- ・要支援の非会員 2 名のうち 1 名は「入会したい」と記入しました。非会員でも、世帯当たり毎年 110 円程度の防災に関する補助金が豊島区から町会に提供されているので、名簿登載者が会員かどうかは町会からの支援では問わないと防災部長個人としては考えています。逆に、災害時の支援も会員か否かに関わらず依頼していこうと考えています。ただし、一般的には、どこの町会でも、個人への関りや町会員以外への関りについての抵抗感があり、非会員との関係性については今後の検討課題です。

4. 個別相談・情報共有

	総数	個別相談希望			情報不要	町会の説明会	内外の講演会	民生委員共有可	地区委員共有可	
		はい	いいえ	わからない						
要支援	独居	3	1	1	1	0	1	1*	2(1)	2(1)
	南池袋小まで行けない	4	2	0	2	0	0	1	3	3(1)
	愛の手帳	2	1	0	1	0	2	1	1	1
	視覚障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	9	5	3	1	1	3	1	5(2)	6(1)
	小計	16	9	4	4	6	6	4	11(3)	12(3)
支援不要	5	0	1	2	2	2	0	2(1)	2(1)	
合計	21	9	5	6	8	8	4	13(4)	14(4)	

- 個別支援は、従来の町会の活動の枠を超えるため、個別避難計画の作成は試験的に行いたいと思います。令和 4 年には、「災害時要配慮者への支援を考える DVD 視聴と意見交換会」を 3 回行い、要支援と回答した 16 名中 8 名にご参加いただきました。基本的な情報交換はできたと考えています。

【民生委員、地区委員】

- ・ 民生委員、地区委員への情報共有はほとんどから了承の回答をいただきました。否定の回答はありませんでしたが、「民生委員・地区委員が誰かわからない」と回答した人の数は()の中に入れました。一部に民生委員がいない地区の方、町会に入っていない方がいました。
- ・ 「民生委員・地区委員が誰かわからない」と回答した人には、この報告書に、担当の民生委員・地区委員の名前と電話番号を書いた紙を添付します。

- ただし、個別避難計画の作成における民生委員の役割は、全国的に決まっていません。町会では、調査結果を民生委員に、お渡しすることはせずに、まずは、緩く連携させていただきたいと思っています。

5. 心配事

種別	人数	検討課題
知的障害	1	家族不在時に近隣からの声掛け
移動困難(50～70才代)	2	移動の補助と避難所の環境整備
移動困難(85～97才)	6	子供が同居または近所に住むので、移動の補助と同居者不在時の声掛け、避難所環境の整備またはショートステイなどの情報収集

移動の補助を中心に、多様な支援の要望があげられました。エレベータ停止時の対応は一般的な課題でもあるため、5階建てマンションと高層マンションで、移動困難者の搬送の試行を行い動画撮影しました。さらに、町会主催の防災訓練で動画視聴後に、消防署職員からの実演による指導を得ました。その結果、簡単な器材の準備と本人・家族・近隣での練習で実施可能なことを示しました。

6. サービス利用、ワクチン接種、地域支援者

		総数	介護サービス	障害福祉サービス	ワクチン接種なし	ワクチン接種2回目9月以降	支援者氏名記入
要支援	独居	3	2	0	0	1	2
	南池袋小まで行けない	4	3	1	1(1)	0	0
	愛の手帳	2	0	1	0	0	0
	その他	9	5	1	0	0	4
	小計	16	10	3	1(1)	1	6
支援不要		5	2	0	0(2)	0	2
合計		21	12	3	1(3)	1	8

・介護保険サービス利用者は要支援群では62.5%でした。個別避難計画作成はケアマネジャーまたは相談支援専門員が補助することが、令和3年の制度改正で、国から推奨されたので、介護保険サービスの個別支援計画作成の時に、徐々に、災害時の避難も話題になると思います。ケアマネジャーとの面談の際にご相談ください。

・ワクチン接種無1名、無回答1名、2回目接種が遅かった方1名が要支援群にいました。

- ・ワクチン接種状況をうかがいましたのは、ワクチン接種に支援がいらっしゃる人に何かできるかを検討するためでした。豊島区民社会福祉協議会も申し出あれば支援して下さるという情報を、今回は、提供させていただきました。
- ・地域支援者名を要支援群では5名35%が記入しました。支援不要群5名中2名の地域支援者は近隣に住むお子さんでした。区役所危機管理課では、地域支援者に対して災害時の保険料の負担をしており、町会を介して申し込むことができます。この時の地域支援者は町会会員に限りませんが、別居の親族が保険対象になるのかは確認が必要です。

8. 名簿登載者の要介護度と障害種別

年度	総数	介護保険			身体障害												知的障害	愛の手帳	人工呼吸器	精神
		要介護5	要介護4	要介護3								内部障害								
					体幹	上肢	下肢	視覚	聴覚	平衡・咀嚼	心臓	腎臓	呼吸器	小腸	直腸	肝臓				
H29	60	4	10	15	3	17	22	5	0	0	5	3	1	0	2	0	2	0	0	
R3	70	9	12	15	4	19	22	2	0	1	7	2	1	0	2	0	6	0	0	
R3-不在 ^{*1}	52	5	9	12	3	14	15	1	0	1	7	2	1	0	1	0	5	0	0	
要支援	16	4	3	5	1	3	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	
支援不要	11	1	1	2	0	3	3	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	0	
返信無	25	0	5	5	0	8	8	1	0	0	2	2	0	0	0	0	3	0	0	

*1:名簿登載者から居住していない人を除いた数です。

- ・薄い色を付けた内部障害の人は、避難行動には問題はない場合が多いと考えています。
- ・濃い色を付けた人は家族員や住居形態によっては避難が困難と推測されるため、相談を優先して行いたいと考えています。

9. 消防署の防火防災診断について

- ・避難行動要支援者名簿は、町会、民生委員の他に、社会福祉協議会、消防署、警察署にも配布されているそうです。
- ・ちょうど、この調査をしている期間に、消防署から秋の火災予防週間に先立って「防火防災診断」が行われるという情報を町会で得ました。「防火防災診断」は「消防機関が家庭を訪問し防火防災対策について聴取するとともに、必要な措置について指導及び助言すること」だそうです。
- ・この情報の前までにアンケートの回答をいただいた方のうち、避難行動に心配が

あるとご記入くださった 2 名への訪問を令和 3 年 11 月 8 日に調整させていただきました。部屋の中を全部見て回るわけではありませんでしたが 1 時間弱をかけて、B4 用紙 1 枚程度のチェック項目についてお話をうかがいました。消防署の職員さんからは、災害時の対応についてのお知恵もいただきました。

- ・前夜の連絡にご対応いただきました皆様には、改めて御礼申し上げます。
- ・今回、ご都合が悪かった方あるいはご案内を差し上げなかった方で、ご自宅の「防火防災診断」を希望される方は、町会でまとめて消防署に依頼することを回覧板でお回ししましたが(令和 4 年 3 月)、お申し込みはありませんでした。

8. 調査後の活動の流れ

調査 (令和 3 年 11 月 25 日締め切り、出しそびれている方はこれからのご提出でも歓迎します。用紙をなくした方は、ご連絡ください。)

↓

関係者に報告・報告書案の確認依頼(区役所福祉総務課 令和 3 年 12/2、町会長 12/2&9、社会福祉協議会 12/3、福祉総務課 12/6、民生委員、ふくろうの杜高齢者総合相談センター、区役所高齢福祉課、町会長、ブリリア担当部長 12/10、町会役員等 12/12、)

↓

報告書完成、一部の回答者に郵送

↓

DVD 視聴会:2022/3/16 個別相談:町会災害プロジェクトとして検討を継続

↓

車いす利用者をマンション階段から降ろす試行→町会防災訓練 2022/6/26

DVD 視聴会 2 回目 2022/9/25, 11/29

↓

町会 HP から防災情報の提供

個別相談結果の町会内での共有

以上